

あいう屋(のたより)



11月



発行責任者
西川 晃二

【校長室より】

五島高校の講演会等の報告及び所感
～本物に触れ、本物を知り、本物になる～

先月10月から今月11月にかけて、五島高校生にとっては、講演会、芸術鑑賞会等の観覧、聴講という機会がたくさんありました。そこで、これまでの催しに関して整理、報告をいたしたいと思います。

まず、10月には県教委主催の人生の達人セミナーとして杉田亮毅氏(大村高校出身)が来校しました。杉田氏は、元日本経済新聞社社長、会長を歴任、政財界に幅広い人脈を有し、世界的な広がり of 識見をお持ちの方です。長崎県大村の出身であり、培われたグローバルな視野を生徒に伝えていただきたい。また、五中・校歌「地図に五島を指さして我らここに学びぬ」の伝統的な進取の精神を生徒には持ってほしいとの、願いをもって氏をお呼びしました。「97%のがんばりは誰でもできるが、最後の3%が難しい。最後の3%をがんばるように。」と、激励をいただきました。

そして、10月30日には、芸術鑑賞会として古典芸能鑑賞の機会を設けました。狂言の和泉元彌氏が来島。福江文化会館で五高生と保護者等を対象に鑑賞教室を開いていただきました。会の盛況ぶりもさることながら、私が一番うれしかったことは、和泉氏が当日の氏のブログで五島高校生について「たった1時間半の鑑賞教室の鑑賞態度が、あいさつの一言が、五島の気質、風土、五島高校の日々の教育を感じさせた」と激賞してくれたこと。さらに、一般の参加者からも五島高校生の姿に感激した旨のお手紙を頂戴したことです。「褒めてのばす」が教育の基本ではありますが、このようなお褒めをいただいたことは、校長としてもこの上ない喜びであります。

11月には、橋爪大三郎氏、古賀稔彦氏、そして山本隆之氏の講演がありました。

橋爪氏は、東京工業大学教授(社会学)であると同時に、現代日本の論壇を代表する評論家でもあります。今回の五島高校においていただいたのは、東工大が実施する「サイエンスキャラバン」の一環としての来校でした。全国の高校から応募を受けて、3つの高校だけがキャラバンの対象となったそうです。なぜ五島高校を選んでいただいたのかをお聞きしたところ、「地方の高校で、今一番輝いている学校だと思うから」とのご回答に感激いたしました。ところどころ。「地球温暖化」をテーマに40分ほどの講演、その後1時間近くにわたっての生徒との質疑応答という時間設定でした。最初そのような時間構成で生徒たちが積極的に手を挙げて質疑に臨むだろうかと懸念したところですが、それは杞憂に過ぎませんでした。橋爪氏の論理的な説明や視点の斬新さが生徒たちを惹きつけたのは言うまでもありませんが、生徒たち自身の積極的な姿勢に五高生のすばらしさを再認識する機会ともなりました。

11月16日、県学校保健・研究協議会の特別講演・講師としてバルセロナ五輪金メダリスト(柔道)古賀稔彦氏が来島。福江文化会館で教育関係者及び中高の生徒に向けて、「夢の実現～挑戦することの大切さ～」の演題で講演が行われ、本校生徒1、2年生も講演を聞く機会がありました。その道を極めた氏のことは具体的でまた説得力があり、聴衆を惹きつけて放さぬものでありました。特に講演最後に述べられた「古賀塾 五訓」

- 一、「はい」と言う素直な心
- 一、「ありがとう」という感謝の心
- 一、「私がします」という奉仕の心
- 一、「すみません」という反省の心
- 一、「おかげさま」という謙虚な心

の全員復唱によって、日常生活で当たり前のことが、いかに大事かが、生徒には素直に伝わったのではないかと思います。さらに、当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人にはまねできないほど一生懸命にやるという「凡事徹底」を今後も提唱していきたいものと思いました。

11月22日 NHK番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」のチーフプロデューサー山本隆之氏の講演で今秋の講演は終了しました。テレビ番組制作の舞台裏を聞いたり、仕事の魅力を伝えてもらい、生徒たちにとってはキャリア教育の機会ともなったかと思えます。

さて、以上のようにさまざまな講演等を聞く機会が五高生にあったわけです。授業時間確保の面からは問題視する人も居そうですが、これだけの機会を生徒たちに提供できたことに私自身は満足しています。また、これだけの機会を得たことは、五高生であったればこそかとも思えます。

本物に触れ、本物を知ることが、本物に近づく第一歩です。そして「本物をつづく、つづけると本物になる」の精神で、今後とも五島高校生の指導に邁進していきたいと思えます。

芸術鑑賞会「狂言」(10月30日)

10月30日(火)福江文化会館にて芸術鑑賞会を実施し、和泉流宗家一門の皆さんに公演をして頂きました。狂言の公演はもちろん、狂言についてのわかりやすい説明、生徒も参加するワークショップで会場全体が一体となり、笑顔溢れるひと時となりました。普段なかなか目にすることのできない古典芸能を鑑賞し、生徒たちはとても充実した時間を過ごしたようです。公演後には、和泉元彌さんから「生徒達の反応が素晴らしかった。将来に向けて勉強も頑張ってください」とのお言葉も頂きました。

来年の芸術鑑賞会は演劇が予定されています。お楽しみに！



生徒感想(1-1 降田 貴大)

私はこの狂言鑑賞会で初めて「狂言」という日本の伝統芸能に触れ、多くのことを学びました。講演前は、演目の内容を理解できるのかという不安もわずかながらありましたが、早くみてみたいという期待が高まってもいました。実際に見てみると、内容も理解でき、自然に笑いがこみ上げてきました。そして、公演の後にはワークショップが開かれ、そこで狂言の姿勢や発声を和泉元彌さんから直接ご指導いただきました。そのときに「狂言」を見る、聞くだけでなく自ら演じることで生まれる楽しさを感じることができました。私はこの楽しさこそ「狂言」が約650年間受け継がれてきた理由だと思えます。その歴史を感じながら「狂言」を楽しみ、当時の人々やその時代に思いを馳せることができた本当に貴重な体験でした。



2013長崎しおかぜ総文祭プレ大会(11月4日)

生徒感想(1-7 鶴瀬 史織)

長崎しおかぜ総文祭プレ大会開会式では、劇、合唱、吹奏楽部の演奏、マーチング、書道、そして美術など、文化部の様々なステージを見ることができました。劇では長崎の特産品の紹介や方言を使い、長崎の事をアピールしていました。この劇で長崎の事を少しでも知ってもらえればいいなと思います。吹奏楽部のマーチングは、皆の動きがすぐくまとまっているだけではなく、学校によって特色が異なっていてとても素晴らしいものでした。また、私は書道や美術を1人でしか取り組んだことはありませんが、開会式で発表していたように複数の人たちでもしてみたいと思いました。他にも、たくさんの文化部のステージを見ることができ、本当によい経験になりました。ボランティアについてのステージはありませんでしたが、劇や合唱、吹奏楽部の演奏などで感じたこと、思ったことは、ボランティアの活動にも生かせると思います。私たちの活動に生かせることは、まず皆で一つの活動に向かって頑張ること、自分たちで方法などを考えて活動していくことなどたくさんあると思います。

また、しおかぜ総文祭プレ大会の開会式に参加して、100校近くの学校がこのしおかぜ総文祭に向けて頑張っているということが分かりました。来年は、JRC・ボランティア部門が五島で行われます。その中で、五島の各地をいくつかのグループに分かれて活動する計画があります。今、私たちができることは、まず五島の事を少しでも知ることだと思います。五島にいる私たちから五島の事を知ること海外や県外の人にもたくさんのことを知っていただけるとと思います。そして、海外の人や県外の人とも交流を深め、高校生の文化部の活動がもっと活発になればいいなと思います。今回、学んだことを、これからの活動に生かして来年のしおかぜ総文祭を成功させ、文化部の活動も活発にしていきたいと思っています。

准看資格試験100日前集会(11月7日)

11月7日(水)に、准看資格試験100日前集会を行いました。集会では、学年主任の楠本先生をはじめ、衛生看護科の卒業生で現在五島中央病院に勤務している久保琴恵さんより激励の言葉をいただきました。また、生徒を代表して山田千夏さんが決意表明をし、最後には生徒16名と参加している先生方全員で円陣を組んで「勉強するぞ～」「風邪ひかないぞ～」「合格するぞ～」と大きな声を出し、100日後に行われる試験に向けての決意を新たにしました。

今年度の試験は、2月15日(金)に五島振興局で実施予定です。これからの日々、資格試験全員合格という一つの目標に向かって、クラス全員団結し受験に臨んでほしいと思います。



五島地区公立高等学校PTA研修会(11月23日)

本年度の五島地区公立高等学校PTA研修会が、「生まれ育った郷土を愛し、思いやりの心を持った子どもたちの育成を目指して」を主題に掲げ、長崎県立五島海陽高等学校体育館で開催されました。

会の中では、『体験で磨かれる人間力』と題して、長崎大学教授の小原達朗先生による講演が行われました。先生の体験を通した講演は、私たちに多くの示唆を与えて下さいました。その後、中五島高等学校PTA会長浜迫大吾様より、『地域と関わりを持ったPTA活動』と題して意見発表・意見交換が行われました。最後に県教育委員会生涯学習課 社会教育推進班 川栄治係長より、講評をいただきました。

本校のPTA会員の皆様にも多数ご参加いただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

スクールカウンセラー講演会(11月6日)

11月6日(火) LHR時、体育館にて本校スクールカウンセラーの久富香苗先生による講演会を開催しました。「自分の心とのつきあい方・人とのつきあい方」というテーマで、ご講義と演習をしていただきました。まず、『自分の心のコントロール』については、感情ということ、緊張・不安とのつきあい方、コントロールの方法についてのお話、次に、『友達とのつきあい方』についてのお話、最後に実際に体を使っての『セルフケアの方法』を教えてください、全員で楽しく実践しました。生徒からも、「ネガティブな感情はなくしてしまうのではなく、持っていいんだということがわかった」、「大事な場面では不安を安心でくるむ、ゆで卵のイメージを思い出そうと思う」、「セルフケアの『とけあい動作法』は、本当に安心する気持ちになった」などという感想をもらいました。この日のお話を時々思い出して、学習や部活動に追われる忙しさや受験のストレスなどから、わずかでもホッとする時間を作ってほしいと思います。



進路講演会「サイエンスキャラバン2012」(11月13日)

11月13日(火)、本校体育館において、東京工業大学世界文明センター主催「サイエンスキャラバン2012」を迎えて進路講演会を実施しました。講師は同センター副センター長で社会学者の橋爪大三郎先生。「地球を救え 温暖化に立ち向かう」という演題で40分程度の講演後、「講演内容以外でも何にでも答える」という質疑応答が50分ありました。こういう時いつもは控えめな生徒たちですが、多岐にわたる質問に明確に答えていかれる橋爪先生に本物の知性を感じたのか、どんどん手が挙がりあつという間に予定の時間となりました。「勉強でやる気を出したい。」という生徒の質問にも答えていただきましたが、会終了後、先生は「彼はあの質問をした時点で、ほとんど答えが見つかってますね。」と仰っていました。「十分勉強に向き合っているからこそあの質問が出たんだ。」ということだと思います。

後日先生からメールをいただきましたが、「生徒さんたちとも、将来どこかでまた縁があることを期待しています。」ということでした。東京工業大学は、世界ランキングで日本では東大・京大に次いで3番目の難関校です。・・・頑張るしかなさそうです。

講演会 古賀稔彦 氏(11月16日)

11月16日(金) 福江文化会館において、バルセロナ五輪柔道金メダリストの古賀稔彦氏による講演が行われました。オリンピックでの経験だけではなく、柔道を通して学んだことや指導者になってからの思いについて話していただきました。その中で、日本一の選手、チームを育てるには、まず日本一の指導者でなければならないという話がありました。教師、保護者、そして地域が一体となって学校(教育の環境)を作り教育活動に取り組んでいかなければならないという思いを新たにしました。他にも「練習日誌-自問自答」や「欲点」などの話などがあり、生徒はどうやって自分の夢を実現させるかなど多くの事を学んだ様子でした。

特別講演会 山本隆之 氏(11月22日)

11月22日(木) 6校時にメモリアルホールにおいて、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」チーフ・プロデューサーの山本隆之氏をお迎えして、「プロフェッショナル 仕事の流儀 制作の現場から」と題して、特別講演会を開催しました。番組の制作について、苦勞されたことや工夫されたことなどについて、実際に放送された映像を交えながら、わかりやすく話して下さいました。実際の現場での話を詳しく聞くことができ、生徒も報道についての関心を高めていたようでした。



教科研修会(研究授業・授業研究)

教科全体の指導力を向上させ、難関大学合格者確保と国公立大学の現役合格者数増加を図ることを目的に、高校教育課、教育センターの指導主事の先生等を招いて、以下の日程で教科研修会を実施しました。

研修会には、本校の各教科の教員に加え、島内の高校・中学校からの参加もあり、74名が研修しました。

また、研究授業には他教科の先生方もそれぞれ10名以上参加し、研修を深めることができました。この研修会での学びを12月の学力向上委員会で全員が共有していく予定です。

日付	教科(科目)	テーマ	授業担当者
10月31日(水)	地歴公民科 (日本史B)	教室内における個々の生徒の学力を伸ばす教科指導の在り方	増本欣也先生
11月7日(水)	理科 (生物I)	中高連携 「理科生物(2分野) 遺伝分野」	高比良裕先生 笹井亮佑先生
11月12日(月)	数学科 (数学B)	大学入試を見据えた2年生の授業	猿渡雄介先生
11月14日(水)	英語科 (英語ライティング)	大学入試を見据えた授業	上田恵先生 アルマス・レイマン先生
11月21日(水)	国語科 (古典)	大学入試を見据えた3年生の授業	久保田幸成先生

第47回長崎石城会総会・懇親会が11月17日(土)、長崎市内のホテルニュータンダで90名近い出席者のもと盛大に開催されました。全国石城会長吉野榮一様、西川晃二校長・引地勝事務局長が出席させて頂きました。

懇親会は、古賀悦子様(高20)による華麗な祝舞と中村正義様(高16)による祝吟の後、本校の轟田教頭のお父上である轟田伊三男様(高3)の乾杯の音頭でスタートしました。余興では、日本一に3度輝いた西村しのぶ様(高58)が三味線の演奏を披露、プロの音色に魅了され会場から割れんばかりの拍手が贈られました。そして、今年初めてフレッシュな会員(長崎大学学生3名)が藤原久郎長崎石城会会長(高19)のいきなはからいで出席していましたが、とても楽しかったので来年も出席したいと意気込んでいました。最後は、元長崎石城会会長の松本忠様(中38)の万歳三唱で懇親会の幕が閉じました。事務局長(高40)として2年ぶりに長崎石城会総会に出席させて頂きましたが、西川校長の五高生の現況報告を聞いた会員の皆様が、後輩たちの文武両面の活躍ぶりを心から賞賛し、応援していただいていることをあらためて実感しました。

最後になりますが、生徒の成長を願い教育に邁進しておられる先生方や五島高校を単立ち、今年から五島の未来の舵取り役として御活躍されておられる野口市太郎五島市長様(高26回)をはじめ、諸先輩方が学校をサポートしています。在校生の皆さん、美しい海と鬼岳を望める素晴らしい学舎で、思う存分に学習・部活に励み、自分の夢を実現していきましょう。

人権教育(11月20日)

11月20日(火)7校時「人権教育」を実施しました。1年生は「部落差別」について学びました。部落差別が発生してきた歴史的な経緯や現在の問題点などについて正しい認識を深めることができました。2年生は「人権侵害」について。人権侵害に気づくことの大切さや小さな人権侵害も見逃してはいけないということについて学びました。3年生は「就職・結婚差別」について。かつて結婚や就職の際、家系や個人の能力とは関係のないところで差別があったことや、地名総鑑事件など差別が引き起こした社会問題について学びました。3学年、それぞれのクラスにおいて「人権問題についての正しい認識と、差別をしない心を育む」ことを目的とした授業が行われました。

この日は、学校全体で人権問題や差別について考える良い機会となりました。

山田千春文庫

この度、3年生になったばかりの2011年4月1日、がんで亡くなった山田千春さんを偲び、図書館に「山田千春文庫」を設置しました。御遺族から千春さんが目指していたソーシャルワーカーに関する本を中心に、福祉・介護・医療や職業についての本を33冊寄贈していただきました。それぞれの進路学習に役立ててほしいと思います。



試合結果報告

(1) 柔道部

平成24年度長崎県高等学校新人体育大会 柔道競技

【男子団体】 準優勝(九州新人大会出場)

【男子個人】 60kg級 第3位 大川 都与

81kg級 第1位 祝 貴之

100kg級 第3位 川崎 寛明 第3位 郷原 大樹



第16回九州高等学校新人柔道大会

【男子個人】 81kg級 第2位 祝 貴之

(2) 剣道部

平成24年度長崎県高等学校新人体育大会 剣道競技

【女子団体】 準優勝(九州新人大会出場)

【女子個人】 ベスト8 内海智晶(九州新人大会出場)



(3) 自転車競技

第38回九州地域自転車競技大会 出口 倫子

【500mタイムトライアル】 第2位 【2km個人追抜競争】 第2位 【ロードレース】 第2位

(4) 放送部

平成24年度 第34回九州高校放送コンテスト 長崎県大会

【ラジオ番組部門】 優秀賞 「あこうのように」

(5) 家庭クラブ

第59回長崎県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会

優秀 三田 佑希乃

(6) 英語科

第15回 Junshin Cup英語オーラルコミュニケーションコンテスト

(7) 高校生の税に関する作文

優秀 「税について」 濱口 愛実(はまぐち まなみ)

